

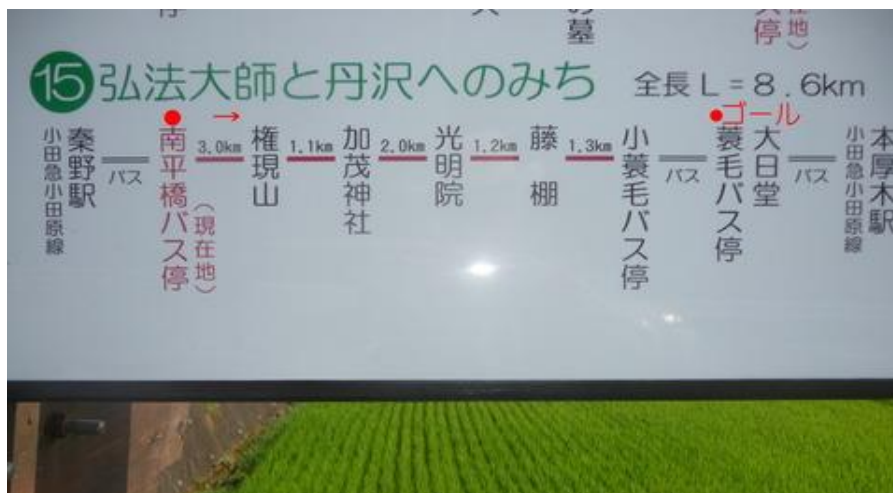
# 関東ふれあいの道を歩く (15) 神奈川 (⑮弘法大師と丹沢へのみち)

2019年11月14日 池内 淑皓

2019年8月17日(土) 台風が過ぎて猛暑ではあったが、快晴となったのでふれあいの道を歩きに出かけた。今回のコースは南平橋からで、「⑨弘法大師と桜のみち」と権現山までコースが重複しているが、見どころは波多野城址と源実朝首塚がお目当てで、中世の歴史が詰まっている。実朝の首塚はふれあいの道から外れているが歴史的な繋がりがあるので訪ねた。



「⑮弘法大師と丹沢へのみち」 概念図 (首都圏自然歩道連絡協議会)



行程図 8.6km 2時間45分のコース



今日の鉄道下車駅は小田急線「秦野駅」



駅前から平塚行のバスに乗車、20分程で南平橋に着く（大槻団地経由は通らない）



バス停には関東ふれあいの道案内板と、道標が整備されている



健速神社への道は、田圃の畦道に付けられた農道を行く、稲穂が膨らんで来た



「健速神社」祭神：須佐之男命、永禄二年（1532）の棟札を持つ、大槻集落の鎮守様  
江戸時代には牛頭天王社と云う、明治に入って現在の名となった。



朱塗りの本堂は寛永13年（1636）造立で、一間社流造り（市文化財）



本堂の裏手から社を出ると、東名高速道路にぶつかるから、峰の上陸橋で越える



大槻団地方面のバス道路に出る、道標に従い西に向かって歩く



5分程歩くと、山に向かう分れ道に出会うから、道標を見落とさないように右折する。



この辺りの角も分かりにくいから、注意が必要だ。道標はお墓の入口の先にある。



とにかく白山神社を目標にして歩くと良い、ふれあいの道は神社の横を通る



やがて尾根の頂上に出ると、権現山への登りに取りつく



「権現山 (243m)」南側の眺望は素晴らしい、富士・箱根が良く見える。展望台が素敵なデザインだね。



秦野、渋沢の市街と丹沢と富士



西は大山 (1252m) が良く見える



6月には見事な紫陽花であったが、盛夏の今きれいに刈り込まれていた



山を下りると馬場道となり「⑩弘法大師と丹沢へのみち」は、



弘法山への途中で左に折れて蓑毛方面へ下る



道はさらに下って、加茂神社経由で町中に出るが、暑いので山麓を直進する



涼しくて気持ち良いトレイルが、秦野国際乗馬クラブ方面に導いてくれる



馬たちもこの暑さに参ったか、水を掛けてもらっていた





町に出ると加茂神社方向からの道を合して、名古木（ながぬき）の交差点に向かう



「名古木交差点」 国道246号線と箕毛方面への大山道と合し、JT 研究所前で左折する



光明院（天台宗）のお寺を巡りながら急坂を上り、療養所のあるバス道に出る。



バス通りに出ると、舗装道路の照り返しで強烈な暑さだ、大山と路傍の草花にホッとする



東小学校前になると、波多野城址への案内があるから、訪ねてみよう



「波多野城址」 平安時代から鎌倉時代にかけて、相模国波多野荘を本領とした豪族波多野氏の居城。五代義通は保元の乱で源義朝に属して戦死、六代義常は頼朝の御家人となる。



その後、波多野氏一族は丹波国に所領を得て移ったという。七回に及ぶ発掘調査でも、城跡を証明する痕跡が発見されていない。



「源実朝の墓」波多野城址から西へ1.5kmの所に在る。建保六年（1218）27歳で鎌倉幕府三代将軍右大臣となる。1月27日鶴岡八幡宮で拝賀を終えた夜、源頼家の子公暁により暗殺される。即日公暁は三浦義村の家臣長尾定景によって成敗された。首は見つからず、亡骸は勝長寿院に葬られた。



公暁が持ち去った首は、義村の家臣武常晴が拾い上げ、波多野氏を頼ってこの地に葬ったという。当時の木製の五輪塔は鎌倉国宝館にある。

愚管抄によれば、首は雪の中から見つかったと記す（当日積雪は2尺程積もる）

[吾妻鏡第廿四・建保七年正月によれば、阿闍梨（公暁）かの御首を持ち、後見備阿闍梨が雪下北谷の宅に向かわる、膳を進むる間、なお手を御首より放たずと云々]



母政子はこの時、何処で何をしていたのだろうか。この日北条の動向について義時は、[右京兆（義時）にわかに心神異例の事あり、御剣を仲章亞尊に譲りて 退去したまひ・・・小町の御亭に帰らしめたまふ]（吾妻鏡第廿四）



さて箕毛への道を急ごう。箕毛郷に入ると、阿夫利神社の石鳥居が大山道に架かる



自然観察の森の前では、水車が回る



箕毛バス停に到着、これより大山へは川沿いに右折する。今日のゴールは、大日堂でもあるので訪ねてみよう。



「大日堂山門」宝蓮寺の大日堂、本尊：大日如来 大山参道の入口に有り、鎌倉建長寺の末寺で臨済宗、



開山は仏国応供広濟国師 山岳信仰の靈場 寺は天平 14 年（742）聖武天皇勅願所として造営された



今日のゴールは箕毛バス停。 23,800 歩 17.7 k mであった

[参考コースタイム]秦野駅（8：07）→南平橋（8：20）→健速神社（8：30）→白山神社（9：10-9：15）→権現山（9：35-9：45）→名古屋木（10：40-10：50）→波多野城址→東公民館（12：00-13：00 実朝の墓往復・昼食）→箕毛バス停（13：45）

この項完

関東ふれあいの道を歩く（16）神奈川（⑩大山参り箕毛のみち）に続く